

■橋梁補修（措置）の新技術

※R4.4.1時点

○本掲載情報は橋梁の「点検・措置（新工法・新材料）」における新技術について、「点検支援技術性能カタログ」及び「NETISの有用技術（名称付与技術）」をまとめたものである。
措置に関する技術・・・34技術（※NETIS掲載期間終了技術54技術(令和4年4月現在)）

○表中の注意事項※1～※4

※1「性能カタログ」の位置付けはホームページ記載の「～補足～」のとおり。

※2「NETIS（有用な新技術）」の位置付けはホームページ記載の「～補足～」のとおり。

※3「従来技術」とはNETIS申請者が「国土交通省土木工事標準積算基準」「港湾土木積算工事積算基準」等に記載されている工法から選択しているものであり、表中の他技術との比較ではないことに注意。
(比較対象技術の詳細はNETISを参照のこと。)

※4「活用効果調査件数」とはNETISにおいて活用効果調査票が提出された件数であり、当該技術の総実績件数ではないことに注意。

○当該掲載情報は新技術選定の効率化、選定候補漏れ防止の一助となる様、橋梁保全に関する性能カタログ及びNETISの有用な技術を取りまとめたものであり、その他の技術利用を妨げるものではない。

最終的な新技術の選定にあたっては各々の橋梁や現場特性を考慮の上、各道路管理者が適正に判断すること。

No.	分類項目	小分類項目	技術名称	新技術開発システム（NETIS）										性能カタログ※1							
				掲載 ※NETISサイトに 移動します	NETIS（有用な新技術）※2				従来技術との比較※3 (※技術開発者の申請情報) ○：従来技術より向上 -：従来技術と同程度 △：従来技術より低下・増加				NETISの 活用効果調査件数※4		NETIS登録番号	掲載 ※性能カタログ ページ に移動します	技術の 性能確認 シート	性能カタログ番号			
					推奨技術	準推奨技術	評価促進技術	活用促進技術	経済性	工期	品質	施工性	中国地整	他地整							
1	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	けい酸塩系表面含浸材CS-21ネオ 新設コンクリート構造物の表面保護に最適で、施工性が良好な反応型けい酸塩系表面含浸材。施工は清掃後の表面に材料を1回塗布のみで散水は不要。継続的な微細空隙の充填効果により、かぶりを健全に保ち鋼材腐食を抑制。更なる品質向上、耐久性向上、長寿命化に寄与する。	■						○	○	○	○	○	8件	CG-160013-VE					
2	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	コンクリート剥落防止対策ネット工法 本技術は、コンクリート片のはく落防止対策ネット工法で、従来のはつり・断面修復工法に比べ、本技術の活用により短期間で経済的に剥落防止が可能となり、施工後にはひび割れ等の目視観察ができる他、容易に部分補修が図れます。	■						○	○	○	-	○	3件	10件	SK-140006-VR				
3	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	超薄膜スケルトンはく落防災コーティング 透明特殊コーティング材とガラス連続繊維シートの含浸接着による、透けて見えるコンクリート構造物のはく落防止機能付き表面保護工法(繊維シートを使用しない場合は小片はく落防止機能)。塗膜の超薄膜化によってコーティング材の使用量を抑え経済性の向上を果たした。	■						○	○	○	○	○	5件	23件	CG-120025-VR				
4	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	ワンステップガード工法 本技術は、特殊有機短繊維を混合したアクリル樹脂を塗布する方式のコンクリート片はく落防止対策工法で、従来は繊維シート接着工法で対応していた。本技術の活用により、シート接着工程が削減ができるので、工程の短縮、経済性の向上が図れる。	■						○	○	○	-	-	10件	KT-120082-VR					
5	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	かため太郎 本技術は、エポキシ樹脂スプレーによるコンクリート構造物の応急的補修材料で、従来は、ポリマーセメントはけ塗りに対応していた。本技術の活用により、従来技術の練混ぜやはけ塗りが不要なので、労務費減少と施工経費がなくなることで、経済性の向上が期待できる。	■						○	○	○	○	○	1件	5件	KT-120036-VE				
6	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	ハイブリッド形表面被覆材アロンブルコートZ-X、Z-Y工法 従来主流のコンクリート表面保護工は、エポキシ樹脂系材料であるが紫外線劣化により割れ剥がれが多く発生している。本工法は、コスト縮減・工期短縮・品質向上・施工性等に着目し開発した材料(セメント系無機質硬化材を主とし、アクリルゴムを混合)を用いる新工法である。	■						○	○	○	○	○	13件	CB-120013-VR					
7	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	KSバンド 本技術は、既設構造物とフレッシュコンクリート間に用いる土木用高耐久型エポキシ系接着剤で、従来はモルタル・コンクリート塗り継ぎ用エポキシ樹脂系接着剤で対応していた。本技術の活用により接着効果が確実に高くなるため、品質、安全性、経済性の向上が期待できる。	■						○	○	-	○	-	7件	KT-160058-VE					
8	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	コンクリート構造物の断面修復材料「ゴムラテシリース」 超速硬ポリマーセメントモルタルまたはコンクリートにより、劣化損傷したコンクリート構造物の断面修復を行う技術で、従来は、超速硬コンクリートで対応していた。本技術の活用により、乾燥収縮が小さく、付着性・耐久性に優れた断面修復が可能である。	■						○	○	○	○	○	6件	18件	QS-150017-VR				
9	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	NCショット 本技術は、コンクリート構造物の補修補強工事に用いる断面修復材である。従来その細骨材として使用していた天然砂の代わりに、高炉水砕スラグを独自の球形化技術にて加工し、プレミックスモルタル化した。本技術の活用により耐久性、耐酸性などの品質向上が期待できる。	■						○	-	-	○	○	9件	QS-150001-VE					
10	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	無機質けい酸塩系含浸材「ポルトガードプレクサス」 本技術はコンクリート表面保護に用いる散水養生不要のけい酸塩系含浸材であり、従来は散水養生を必要とするけい酸塩系含浸材で対応していた。本技術の活用によりカリウムの反応促進作用により散水養生が不要となるため、施工性の向上と経済性の向上が得られる。	■						○	○	○	-	○	10件	KT-130065-VE					
11	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	浸透性吸水防止材「レジソークType1」 本技術はコンクリート表層部の組織を改質することで撥水効果が得られる。同時に表面からの水分、塩分等の浸入を防ぐことで、コンクリート構造物の塩害、凍害、中性化などによる劣化進行を抑制する。また、簡便な施工であり維持管理コストの低減が期待できる。	■						○	○	○	○	○	9件	CG-120004-VR					
12	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	脂肪族系鉄筋防錆剤「サビラズ」「ハイサビラズ」 本技術は、強靱かつ鉄筋の伸縮に追随する塗膜により、鉄筋に有効な防錆力を発揮させます。従来は、露出鉄筋にポリ塩化ビニル系チューブを被せ、工事再開時に剥がすことで対応していた。本技術の活用により、塗布作業だけの工程で防錆処理作業の短縮が図れる。	■						○	○	○	○	-	○	8件	296件	KT-150006-VE			
13	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	リポテックスシリーズ 本技術は皮膜成分を散布する湿潤養生剤で、従来はコンクリート養生マットで対応していた。本技術の活用により、散水やマット敷設等の作業が不要となり労務費の低減が図れるため、経済性が向上する。	■						○	○	○	-	○	28件	KT-120081-VE					
14	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	アルワーク 本技術は、コンクリート型枠設置・撤去用あるいは垂直・傾斜面用のアルミ製仮設足場ブラケットで、従来は、鋼製足場ブラケットで対応していた。本技術の活用により、軽量化や設置方法の多様性により、安全性および施工性の向上が期待できる。	■						○	R 3	-	-	-	○	1件	KKK-170004-VE				
15	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	亜硝酸リチウム併用型断面修復工法「リハビリ断面修復工法」 本技術は、塩害・中性化によって劣化したコンクリートを亜硝酸リチウムを混入した断面修復材を用いて補修する工法である。断面修復材に用いる亜硝酸リチウムがコンクリート中へ浸透拡散し、鉄筋の不動態皮膜を再生することで高い防錆環境を構築する。	■						○	○	○	○	○	CG-220003-A						
16	措置 (新工法・ 新材料)	塗装	ECO-SCOP工法 分析用途の塗膜採取の従来技術は、素地調整2種が用いられているが、本技術の採取用具を用いることで、塗膜の採取コスト、作業工程と日数を各段に低減し、塗膜に含む有害物質から作業員の安全と周辺環境の汚染および二次汚染廃棄物の発生が防止できる。	■						○	○	○	○	○	6件	HK-160021-VE					
17	措置 (新工法・ 新材料)	塗装	循環型ハイブリッドプラストシステム 橋梁補修補強工等において、鋼構造物の素地調整(1種ケレン)やコンクリート劣化部のチッピングを行う循環型機能付プラスト工法で、従来は、エアープラストで対応していた。本技術の活用により、ケレンかすから研削材を吸引再利用できるため、産業廃棄物を削減できる。	■						○	○	○	-	○	8件	QS-150032-VE					
18	措置 (新工法・ 新材料)	塗装	EPP(エコ・ペイント・ピーリング)工法 本技術は、水性剥離剤を、橋梁などの塗膜に塗布することで、塗膜を浮き上げらせ除去する工法です。従来はプラスト工法を用いていました。本技術の活用により、塗膜除去時の粉塵と騒音の発生を防止できます。塗膜に有害物質を含む場合は特に有効です。	■						○	○	○	○	△	-	3件	20件	KT-150081-VR			
19	措置 (新工法・ 新材料)	塗装	金属溶射の塗装工程省力化工法(SIC工法) 本工法は金属溶射の塗装仕様であり、重防食塗装の技術である。封孔処理と塗装にSICシーラー(無溶剤1液型無機系封孔剤)を使用する。従来は有機溶剤系塗料で対応していた。本工法の活用により、工程の削減、耐久性の向上、環境負荷の低減が期待できる。	■						○	○	○	○	○	6件	TH-140010-VR					
20	措置 (新工法・ 新材料)	塗装	中性型水系剥離剤ECO「STRIPPER」 本技術は中性型水系ECOタイプの剥離剤のため生態影響が少なく安全配慮された工法であり、従来技術は高級アルコール系剥離剤を使用していた。本技術の活用により鋼構造物及びコンクリート構造物の旧塗膜を湿潤化させ効率よく安全に塗膜除去ができるため経済性が向上する。	■						○	○	-	○	○	CB-210014-A						
21	措置 (新工法・ 新材料)	塗装	長期耐候性 鋳鋼換防食塗装システム「DeCK」 本技術は、鋼構造物の塗替え塗装に関する技術である。専用のエポキシ樹脂プライマーにより発錆リスクである赤錆を黒錆に転換し防食することができ、さらに超薄膜形のふっ素樹脂塗料を塗り重ねることで、長期耐候性も期待できる為、ライフサイクルコストの縮減が可能である。	■						○	△	○	○	○	QS-210056-A						
22	措置 (新工法・ 新材料)	塗装	1液型無機厚膜防錆塗料「EKワンZ」 本技術は、鋼構造物に素地調整後塗布することで亜鉛・アルミの犠牲陽極反応により、腐食を防ぐ重防食被覆剤の製品技術であり、従来は熔融亜鉛めっき(JIS H 8641 HDZ55)利用していた。本技術の活用により長期防食による品質、施工性向上、周辺環境への影響抑制が期待できる。	■						○	○	-	○	○	KK-210051-A						
23	措置 (新工法・ 新材料)	耐震	パワーダンパー 本技術は地震力を低減させるシリンドラ型粘性ダンパーです。本技術の活用により、橋脚基礎の補強を省略するとともに、橋脚の補強量を低減させることが可能となり、経済性が向上し、工期を短縮することができます。	■						○	○	○	-	○	6件	TH-120010-VE					

24	措置 (新工法・ 新材料)	耐震	コンパクト ストッパー (KCS) 本技術は水平2方向及び上向き(上揚力)の地震力に抵抗する緩衝ゴム付き変位制限装置であり、従来は鋼製ブラケットによる変位制限装置により対応していた。本技術の活用により、上向き地震力に抵抗可能な構造としたことにより、地震時における品質の向上となる。	■					○	○	○	○	○		8件	KT-120008-VE			
25	措置 (新工法・ 新材料)	鋼構造物 補修・補強	鋼構造物溶接止端部の疲労強度向上工法 本技術は、鋼構造物の溶接継手を強化する技術であり、従来は溶接継手の止端部をグラインダー仕上げで対応していた。本技術の活用により、溶接継手が強化され鋼構造物の耐久性を向上させると共に、工期の短縮、作業者の作業負荷軽減が期待できる技術である。	■					○	△	○	○	○	2件	31件	CB-120011-VE			
26	措置 (新工法・ 新材料)	排水装置	橋梁用埋設型排水柵 本製品はコンクリート床版上の雨水を排水するための床版排水用の排水柵です。伸縮装置取り換え工事と同時に設置を行い、遊間を利用して排水する技術です。コアドリルによる削孔作業が不要なため施工が早いのが最大の特徴です。	■						○	○	-	○		7件	HK-140002-VE			
27	措置 (新工法・ 新材料)	仮設	プレストレスデッキ 1.0m×4.0m 本技術は、鋼板プレストレス強化工法によって、従来2.0mであった覆工板と同程度の厚さと単位重量で4.0mへ長スパン化した製品である。覆工板の長スパン化により、施工性の向上と、工期短縮、コスト削減が期待できる。	■					○	○	○	○	○	1件	7件	KK-120033-VR			
28	措置 (新工法・ 新材料)	橋梁付属物 清掃工	ハンドミストジェット工法 本技術は、ウォータージェット技術を応用してコンクリート・鋼構造物の旧塗膜及び錆等の除去を行う技術であり、従来はサンダーケレンで対応していた。本技術の活用により、周辺環境への影響を抑制でき、機械化による施工品質の向上が図れる。	■							△	○	○			KT-220012-A			
29	措置 (新工法・ 新材料)	その他	オートチップ工法 本技術は、高架道路伸縮継手の取り換えや床版の表面切削において、低騒音型コンクリート撤去装置を用いた工法で、従来はブレーカーを使用した人力手はつり作業で対応していた。本技術の活用により、低騒音・低振動での施工が可能になるため、周辺環境への影響抑制が図れる。	■						△	-	○	○			KT-210057-A			
30	措置 (新工法・ 新材料)	その他	ポリウレア樹脂を用いたコンクリート構造物の機能保持・向上技術「タフネスコート工法」 本技術は、高架道路伸縮継手の取り換えや床版の表面切削において、低騒音型コンクリート撤去装置を用いた工法で、従来はブレーカーを使用した人力手はつり作業で対応していた。本技術の活用により、低騒音・低振動での施工が可能になるため、周辺環境への影響抑制が図れる。	■						○	○	-	○		1件	QS-210065-A			
31	措置 (新工法・ 新材料)	その他	ICR処理工法 本技術は、鋼構造物に発生した疲労き裂の補修工法であり、当該箇所の補修には従来では当て板工法等による補修で対応されてきたが、ICR処理工法を用いることにより従来工法と比較して安全かつ経済的に鋼構造物の疲労き裂の補修を行うことができる。	■							○	○	-	○		CB-210010-A			
32	措置 (新工法・ 新材料)	その他	IH塗膜剥離機 (メクレル) 本技術は、誘導加熱の原理を採用したケレン工による塗膜剥離を行う技術であり、従来は素地調整用の塗膜剥離による。本技術の活用により、人力による塗膜剥離が可能となる結果、プラスト研削材の不使用による粉塵飛散の予防、剥離後の塗膜回収作業の効率化が期待される。	■						○	△	-	○			CB-210010-A			
33	措置 (新工法・ 新材料)	その他	下地視認可能型省工程剥落防止工法 ダイナミックレジソクリアタフレジソクイック 本技術は特殊透明樹脂によりコンクリート片のはく落を防止する技術であり、従来はガラスクロス接着工法で対応していた。本技術の活用により、施工後に下地の劣化状況を目視確認できるため、点検及び維持管理が容易となり、また工程も短縮されているため、経済性も向上する。	■						○	○	-	○			KT-210087-A			
34	措置 (新工法・ 新材料)	その他	ボンドVVMクリア工法 本技術は、強靱で耐候性に優れた透明なウレアウレタン樹脂を用いたコンクリート片剥落防止工法で、従来はビニロンネットと不透明な樹脂で対応していた。本技術の活用により、下地の視認、工期短縮が可能となり、安全性、経済性の向上が図れる。	■						○	○	△	○			KT-210065-A			

【NETIS掲載期間終了技術】 ※掲載期間が終了しており、NETISでは閲覧できません。

35	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	CS-21ひび割れ補修セット ひび割れの補修を、無機系の①CS-21クリアー、②CSパテのセットにおいて、ひび割れに塗布+擦込み簡便な工法によりひび割れ自閉効果と空隙の充填を可能とした。ひび割れからの劣化因子の侵入を防ぎコンクリートの耐久性向上と美観等に寄与する技術。【掲載期間終了】	■					○	○	○	-	○	1件	6件	CG-110003-VE				
36	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	eプレート工法 本技術は、CFRPプレート(以下「eプレート」)による鋼、コンクリート構造物の曲げ補強工法で、従来は鋼板接着工法で対応していた。本技術の活用により、鋼材腐食の心配が無く、死荷重の増加がほとんど無くなるため、構造物の品質及び耐久性が向上する。【掲載期間終了】	■					○	○	○	○	○	1件	18件	KT-110058-VR				
37	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	スーパーホゼン式工法 本技術は、耐荷力性能不足が懸念される道路橋床版等に対して車両規制を行わず下面から補強鋼鉄筋を圧着固定し床版の振動・衝撃を緩和しながらポリマーセメントモルタルでの増厚及びエポキシ樹脂の注入を施し、既設床版と完全一体化させ耐荷力を向上し長寿命化する技術である【掲載期間終了】	■					○	○	○	-	○	5件	6件	CG-110038-VR				
38	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	ボンドKEEPメンテ工法VM-3 本技術は、変性ポリウレタン樹脂による柔軟性に富み、広い施工可能温度領域を有するコンクリート片はく落対策工法である。従来は、当該箇所をハツリ撤去後、モルタル等で断面復旧していた。本技術では下地のひび割れや変形に追従性を確保し、過年度の施工が可能となった。【掲載期間終了】	■					○	○	○	○	○	1件	15件	SK-110012-VR				
39	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	クリアクロス工法 本技術は、含浸による透明な特殊ビニロクロスを用いたコンクリート剥落防止工法で、従来ははつりエ+モルタル復旧工法で対応していた。本技術の活用により、はつり作業が不要となり産業廃棄物が低減し騒音発生が無く経済性の向上、周辺環境への影響抑制となる。【掲載期間終了】	■					○	○	○	-	○		17件	KT-110052-VE				
40	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	フォルカストランドシート工法 本工法は、炭素繊維などをエポキシ樹脂で棒状に硬化し、一方向に配列させすだれ状に加工した強化繊維シート「ストランドシート」を、エポキシ樹脂等の常温硬化型接着剤を用いて貼り付けるだけで、従来より安価で短期間にコンクリート構造物の補修・補強が可能である。【掲載期間終了】	■					○	○	○	○	○	4件	17件	QS-080011-VG				
41	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	高粘性浸透性吸水防止材 本技術はコンクリート構造物等に高粘性浸透性吸水防止材(シラン系表面含浸材)を使用する表面保護工法であり、従来は表面被覆工法で対応していた。本技術の活用によりコスト縮減、塩害に対する耐久性の向上が期待できる。また鉄筋の腐食抑制効果も確認された。【掲載期間終了】	■					○	○	○	○	○		5件	KT-060094-VG				
42	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	CABOCON工法(カボコン工法) CABOCON工法とは、炭素繊維集成板(以下、CCFPと示す;Consolidated Carbon Fiber Plate)を接着剤(Bond)にて、構造物に接合(Connect)することで、補修・補強を行う工法である。【掲載期間終了】	■					○	△	○	○	○		6件	KK-050085-VG				
43	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	ショーボンドハイブリッドシート工法 本技術は、予め工場で作成された特殊ラミネートシートを現場で一層貼り付ける工法で、従来工法の現場積層型の工法に比べて施工工程の削減と品質の向上等を実現しました。【掲載期間終了】	■					○	○	○	○	○	7件	88件	TH-010017-VG				
44	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	床版上面増厚工法 本技術は既設コンクリート床版上面の上に新しいコンクリートを打継ぎ、新旧コンクリートを付着一体化させる工法で、従来は床版打換工法で対応していた。本技術の活用により工程の短縮・既設床版コンクリートの撤去処分費用の削減などによるコスト縮減効果が期待できる。【掲載期間終了】	■					○	○	○	-	○	2件	6件	KT-010135-VG				
45	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	トレカクロスG工法 本技術はコンクリート構造物に炭素繊維シートを接着する工法であり、従来は鋼板接着工法を使用していた。本技術の活用により樹脂含浸の施工管理が容易となり、適正樹脂量の確認及び作業時間の適正化が図られ、コスト縮減・工期短縮・施工品質の向上が図られます。【掲載期間終了】	■					○	○	○	○	○		6件	KT-090053-VG				
46	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	コンクリートひび割れ低減用ネット「ハイパーネット60」 本技術はコンクリート構造物に発生するひび割れを抑制する技術であり、従来にない技術である。本技術の活用により、耐久性に大きく影響する幅の広いひび割れの発生を抑制することにより、コンクリート構造物の品質の向上が期待される。【掲載期間終了】	■					○	△	△	○	△	83件	769件	SK-080003-VG				
47	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	省力施工型コンクリート改質・劣化防止剤「リアル・メンテ」 本技術は省力施工型コンクリート改質・劣化防止剤「リアル・メンテ」で、従来はケイ酸塩系表面含浸材により対応していた。本技術の活用により散水養生不要による適正なケイ酸塩濃度が含浸し維持される事で中性化抑制効果を発揮し、品質が向上する。【掲載期間終了】	■					○	○	○	○	○	2件	24件	KT-080018-VG				
48	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	紙チューブ式無機系接着アンカー工法 本技術は、コンクリート母材にカプセルを挿入し、特殊アンカーボルト(L型・コ型・完全埋込筋)を打撃のみで固着する無機系アンカー工法である。従来は注入・エア抜きパイプをシールして硬化後、樹脂注入を行っていた。本技術により工期短縮とコスト縮減が期待出来る。【掲載期間終了】	■					○	○	○	○	○	2件	17件	KT-070103-VG				
49	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	無溶剤タイプジェル状シラン系表面含浸材 本技術はシラン系表面含浸材によるコンクリート保護に関するもので、従来は表面被覆材で対応していた。本技術の活用によりコンクリート構造物を簡便に、低コストで、長期間水や塩分などの劣化因子から保護し、コンクリート構造物の耐久性向上と景観維持が期待できる。【掲載期間終了】	■					○	○	○	-	○	18件	198件	KT-070047-VG				
50	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	FORCA(フォルカ)トウメッシュ工法 耐久性に優れたFRPメッシュをコンクリートアンカーで固定するだけの簡単な剥落防止工法である。接着剤やモルタルを使用しないので下地処理や導水・止水処理が不要で、結露、漏水のあるトンネルでも施工可能である。また、従来工法に比べ早く施工できる。【掲載期間終了】	■	○ H 2 6					○	○	-	○	27件	49件	KK-060042-VG				
51	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	鉄筋腐食抑制工法「プロテクトシル CIT」 プロテクトシルCITは、含浸系表面保護材で、コンクリート表面に塗布する事によりコンクリート中の鉄筋の腐食電流を低減し鉄筋の腐食抑制する。【掲載期間終了】	■					○	○	○	○	○	22件	118件	HR-060004-VG				
52	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	アルファー・ゾル-G注入工法 この工法は、水の接するコンクリートの打設部・ひび割れ・コールドジョイント・セパレーター等、施工後に発生した漏水補修に適用する。【掲載期間終了】	■					○	△	○	○	○	3件	37件	SK-050009-VG				
53	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	Stコン(エステコン) 本技術はコンクリート構造物のPコーン跡に穴埋めをする新しい材料と方法で、従来はモルタルを押し込み内いコテで仕上げていた。本技術の活用により誰でも簡単に速く確実にしかも均一に綺麗に施工する事が出来る。【掲載期間終了】	■					○	○	○	○	○	30件	270件	KT-050007-VG				
54	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	高分子系浸透性防水材 アイゾールEX 撥水効果・コンクリートの表面改質効果を併せ持つ表面被覆材(透湿性を有する水性一液型塗料)が、コンクリートの劣化を抑制する。【掲載期間終了】	■	○ H 2 4					○	○	○	○	22件	43件	CB-030003-VG				
55	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	コンクリート構造物の断面修復乾式吹付け工法 ポリマーセメントモルタル乾式吹付け工法はコンクリート構造物の断面修復や補強を独自のサイロシステムを用いて、短期間に施工する優れた工法である。【掲載期間終了】	■					○	○	○	○	○	3件	11件	CB-020040-VG				
56	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	二方向アラミドシート補修・補強工法 二方向アラミドシート工法は、わが国で250件程度の施工実績があり、構造物の耐力の向上を図るとともに疲労による劣化を抑制し、構造体の寿命を延命させることができます。【掲載期間終了】	■					○	○	○	○	○	2件	21件	CB-000024-VG				
57	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	FRPグリッド増厚・巻立て工法 本技術は、補強材であるFRPグリッドを、ポリマーセメントモルタルを使用して既設コンクリート構造物と一体化し補修・補強する技術で、従来は、薄鋼板をアンカーボルトにより取り付け、エポキシ樹脂注入で既設コンクリート構造物と一体化し補修・補強する技術であった。【掲載期間終了】	■					○	○	○	-	○	2件	24件	CG-000009-VG				
58	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	フォルカトウシート工法 フォルカトウシート工法は、カーボン、アラミドなどの高性能連続強化繊維を一方向に配列させた「トウシート」を、エポキシ樹脂等の常温硬化型接着剤を用いてコンクリート構造物の表面に貼り付けるだけの、施工性に優れた工法である。【掲載期間終了】	■						○	○	○	-	○	12件	72件	QS-990014-VG			
59	措置 (新工法・ 新材料)	コンクリート 補修・補強	Qマット 本技術はコンクリート構造物の湿潤・保温養生材で、従来は散水養生、スポンジタイプ等の養生マットによる湿潤養生とヒーターによる給熱養生で対応していた。本技術の活用により保湿性と保温性の向上が期待できる。【掲載期間終了】	■					○	○	○	○	○	277件	684件	KT-980368-VG				
60	措置 (新工法・ 新材料)	塗装	アースコート防錆-塗装システム 新技術は表面処理と防錆塗装を組み合わせた塗装システムである。従来は一般重防錆防食塗装により施工していたが、本技術の活用により防食性と密着性が向上し塗り替え期間の延長が可能になった。【掲載期間終了】	■					○	○	○	○	○	9件	8件	KK-110056-VR				

